

2004年11月28日(日曜日)

地域再生計画 始動

知恵と工夫による地域の活性化に向けて

地方分権が進む中、地域が抱えているさまざまな課題を、私たち自身で考え、そして自らの責任で解決していくことが求められています。

しかしながら、新たな取組みを行おうとすると、国の制度が支障となったり、地域の実情に合っていないため使いにくかったりと、いろいろな制約が多いものです。

そういった問題を解決するため国では、地域が知恵と工夫を凝らした地域を元気にするための取組みを支援する仕組みとして、「地域再生制度」を設けました。

地域再生とは

地域を活性化させる取組みの主役は、地域の住民や事業者の皆さんです。皆さんのアイデアで、皆さんの地域を生き活きと活性化していくための活動を支援するのが「地域再生制度」といえます。

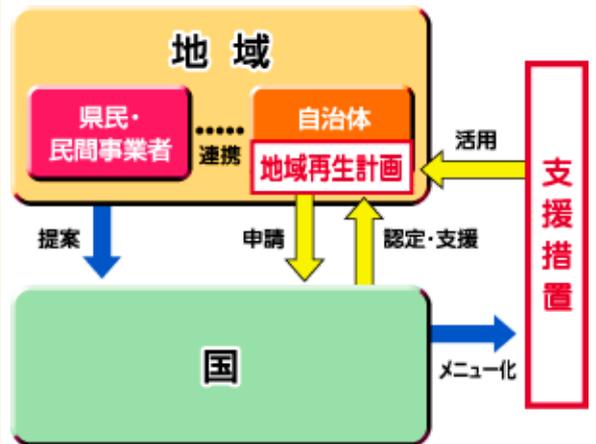
この制度には、「こんな国の制度は不必要では？」とか、「この制度をこう変えると、こんなに効率のいい活動ができるのに」といった、県民の皆さんが日ごろ感じていることを国に提案する機会が設けられています。

国では、各地域から提案されたアイデア1つひとつを検討。実現や支援が可能なものについては、地域再生のための「支援措置」として決定されます。

市町村や県は、この支援措置をうまく活用して、皆さんのニーズを踏まえながら地域の活性化を目指した「地域再生計画」を立て、国に申請することができます。

県ではこれまで6つの計画を申請し、6月に5件が認定を受けました。10月に申請した1件については、12月上旬頃に認定される予定です。(※12月1日に認定されました。)

提案募集・計画認定の仕組み



※図をクリックすると拡大表示します

認定を受けた5つの地域再生計画

奥越自然のいやし推進計画 (大野市との共同申請)

大野市は、牧場やスキー場、農業体験施設など豊かな自然を生かした都市と農村の交流を進めるための魅力がいっぱいのエリアで

す。

また、六呂師高原には、担い手農家の育成や地域住民が中心になって行う交流活動を支援するための施設「スターランドさかだに」が設けられています。

これらの施設を有効活用するとともに、地域の魅力を結び付けながら、都市と農村との交流(グリーン・ツーリズム)を進めます。



農村の活性化に向けて都市住民との交流活動に力を入れる「スターランドさかだに」

かみなか就農定住促進計画 (上中町との共同申請)

上中町では、農業生産法人「かみなか農楽舎」が中心となって、担い手農家の育成を図るとともに農業体験学習などを行っています。

また、構造改革特区制度を活用して、グリーン・ツーリズムの取り組みも進めています。

今後さらに、都市と農村との交流や新規就農を進めるための支援を受けて、都市に住む若者の就農や定住を進めます。



若者の就農・定住や都市との交流を進める「かみなか農楽舎」。6名の研修生が独立に向けて農業技術の修得に励んでいる。

ふくい雇用ミスマッチ解消計画

県内の雇用情勢を見ると、若者の就職環境は依然厳しさが続いており、高校卒業者の離職率の上昇やフリーターの増加傾向がみられます。

県では、今年5月に福井県若者就職支援センター「ふくいジョブカフェ」を開設。さらに、企業の即戦力ニーズに対応できる人材を育成するため、講義と企業実習が一体となった職業訓練を実施するなど、若者の雇用創出を目指します。



職探しや適性診断など若者の就職活動をサポートするために設けられた「ふくいジョブカフェ」=福井商工会議所ビル1階

越前一乗谷戦国ロマン再生計画 (福井市との共同申請)

福井市の一乗谷とその周辺地域は、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡や一乗滝など、全国に誇る歴史的資源があり、毎年数多くの観光客が訪れています。

これらの遺跡や自然環境、施設などを活かし、周辺地域一帯を「史跡を巡りながら散策を楽しめる学習・体験・体感の場」として再生します。また、一乗谷朝倉氏遺跡の保存・活用を進めることにより、県内外からの観光客の誘致拡大を図ります。



ふくい原子力・地域産業共生計画

嶺南地域には15基の原子力発電所が立地し、関西圏の消費電力の約6割を供給する全国有数のエネルギー供給地域となっています。

原子力と地域産業が共生する全国的なモデルケースとなるよう、国と地元の産学官が一体となった協力・連携体制を築き、研究開発や人材育成、新産業の創出を目指します。



原子力発電所などで使われている技術を県内企業にも活用
いただきます＝若狭湾エネルギー研究センターによる技術研修

申請中の地域再生計画

ふくい産力強化計画

福井県の経済社会が発展していくためには、繊維や眼鏡などの分野における「ものづくり技術」を活かした競争力強化が不可欠です。

本県の「産力(ものを産み出す力)」を強化していくため、県内の産学官が一体となった新技術開発を進めます。
また、概ね10年後の社会経済を見据え、本県が「メッカ」と呼ばれる最先端技術分野を創出します。

※12月1日に認定されました。

【 意欲あるアイデアを募集中 】

県内では、市町村単独も含めて5つの構造改革特区計画と6つの地域再生計画が認められ、各地で地域の活性化に向けた取組みが始まっています。(※12月1日現在で、構造改革特区6、地域再生計画8になっています。)

県では、この制度を有効活用しながら、今後とも地域の活性化に向けた積極的な取組みを行うとともに、意欲ある皆さんのアイデアを募集しています。

詳しくは、**県政策推進課 TEL0776(20)0226**までどうぞ。

地域再生のホームページ

<http://info.pref.fukui.jp/seiki/tiikisaiseitop.html>

